1. 授業の概要(ねらい)

病弱・身体虚弱の子どもたちの心理特性、人体の生理・病理の基本的事項、各種疾病の病理及び保健などの概要について理解し、病弱・身体虚弱の子どもたちの心理的ケアや保健面での適切な配慮ができるようにすることを目的とします。

そのために、病弱教育の対象となる主な疾病や障害について、病態生理及び保健の視点から取り上げて解説するとともに、学校教育の立場から配慮すべき心構えについて考察していきます。また、様々な病気を抱える子どもたちの心理特性については、グループ協議や発表などを通して、理解を深めていきます。

2. 授業の到達目標

- ・病弱児などを適切に支援するための心理特性を理解する。
- ・病弱児などの主な疾病や障害についての基礎的知識を学ぶ。
- ・病弱児などの適切な支援のための学校教育の立場から配慮すべき事項を学ぶ。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(60%)、レポート(20%)、グループ討議及び授業への参加状況(20%)を総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは使用せず、毎回、関連資料を配布します。

参考文献

- 『病弱・虚弱児の医療・療育・教育』改訂3版 金芳堂
- 『病気の子どものガイドブック』ジヤース教育新社
- 『チームで育む病気の子ども』北樹出版

5. 準備学修の内容

予習課題についてレポートをまとめ、授業の復習を行い、病弱教育あるいは特別支援教育に関する専門用語や医療用語、問題点、課題等を整理し、追究してほしい。

6. その他履修上の注意事項

- ・授業内容に対するレポート等を所定の用紙に記入し、授業終了時に提出すること。
- ・授業の中でのグループ討議には積極的に参加し、他の学生からの意見や考え方を学んでほしい。
- ・授業を通して、病弱の子どもたちの現状とその主な疾病や障害についての理解を深め、病弱の子どもたちへの支援が広がっていくことを望んでいます。
- ・積極的な態度で受講してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ・オリエンテーション、病弱・身体虚弱の子どもの理解(現状と教育)、障害の種類と定義
- 【第2回】 ・病弱教育の歴史、病弱児の心理的特性と親や兄弟の心理、子どもと家族
- 【第3回】 ・子どもの成長・発達の定義と一般的原則、子どもの心理的・社会的発達過程
- 【第4回】 ・小児がんの病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処・死生観
- 【第5回】 ・気管支ぜん息の病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処方法
- 【第6回】 ・先天性心疾患の病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第7回】 ・腎臓病の病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第8回】 ・糖尿病、肥満の病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第9回】 ・食物アレルギーの病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第10回】 ・てんかんの病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第11回】 ・筋ジストロフィーの病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第12回】 ・心身症の病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第13回】 ・ベルテス病の病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第14回】 ・重症心身障害児の病理・保健:病気の概念・病態生理・症状・対処
- 【第15回】 ・病弱児の心理・生理・病理のまとめ